



鍛造用押出棒(ASTM B124 C49355)

Jマテ・カップー 鉛レス黄銅

Si-Bi 混 合 材 料 を 開 発

【上越】Jマテ・カップープロダクツ(本社・新潟県上越市、山本秀樹社長)はこのほど、シリコン系にビスマスを添加した独自の鉛レス黄銅材「NEXT BRASS」を開発した。快削性と耐食性に優れ、シリコン系とビスマス系が混在するスクラップも原料に使える。米国における水栓器具の鉛規制強化に対応するため、鍛造用棒材(押出用)、鋳物用地金、連続鋳造材の3種を米規格ASTMに登録した。

米規格 ASTM登録 世界標準目指す

同製品の製造は同社が地金と連鋳品を、中国のグループ会社「上海上越高級銅合金(上海工場)」が押出品を担当する。上海工場では本年、押出機1基を新たに導入し、7月から同押出材を製造、中国国内および日本国内市場に出荷。特に米国への直接輸出を図る考え。同社グループとしては、「NEXT BRASS」のブランド名で手掛けていく。

な特徴。将来的には文字通り次世代黄銅と位置付け、世界標準材としての普及を目指す。材質記号を表わすUNSナンバーは、押出用がC49355、鋳物用がC89720。

規格登録の背景には、米国で2014年1月から、水回りの製品の鉛含有量規制が一層厳しくなり、現在広く使用されている表面処理製品なども規制対象となるため。これにより米国メーカーは本年度内に新素材選択の必要に迫られ、すでに鉛

の含有量規制の流れを受け、日本国内でも同じく規制強化の動きが出ている。

「NEXT BRASS」の最大の特長は、原料として既存の鉛レス黄銅材(ビスマス系・ビスマス・錫系・シリコン系)のスクラップがすべて利用できることにある。すべての原料が使えることで、コスト面で優位性を発揮。さらに優れた被削性と耐脱亜鉛性能・耐エロージョン・コロージョン性もバランス良く維持し、カドミレスであること、熱間加工性が良いので押出品は鍛造用素材として利用可能。などといったメリットを有している。同社の営業(8025-5341-5151、<http://www.jcp.co.jp>)が担当となり、今後「NEXT BRASS」の浸透と販売拡大を目指している。

なお、C49355材のASTM規格はB124(鍛造用)、B249(型鍛造用)、B967(Cu-Sn-Bi棒)で、C89720材はASTM規格がB30(地金)、B505(連鋳)、B763(アルフ用砂型鋳造)などとなっている。

非鉄

(12)

発行所 産業新聞社

東京本社 東京都中央区新川1-8-6
編集局(非鉄) TEL 03(5566)8772
FAX 03(5566)8182
総務販売局(購読・配達) TEL 03(5566)8778
FAX 03(5566)8185
大阪本社 大阪市西区鞠本町1-5-15
TEL 06(6443)8551 FAX 06(6443)3828
アジア総局 上海市崑山関路85号 東方国際大廈C座1604室
上海支局 TEL 86-21-6278-7750 FAX 86-21-6278-7751